

生活協同組合 コープさっぽろ

令和 7 年 2 月現在

業種：小売業

社員数：16,125 名



住所：〒063-8501
札幌市西区発寒 11 条 5 丁目 10 番 1 号

事業内容：店舗事業、宅配事業、配食事業、食品工場、物流センター、エコセンターなど

【歴史と沿革】

コープさっぽろは、1965 年（昭和 40 年）に消費者の手で真に消費者の利益を守る流通網をつくろうと札幌市民生協として設立。2000 年（平成 12 年）に生活協同組合コープさっぽろに名称を変更。店舗数 109、宅配センター42、食品工場 6 を運営。

【障がい者雇用状況(R7.2)】

職員 16,125 名
障がい者雇用 860 名
障がい者雇用率 8.11%

Interview

障がい者雇用を始めるまでの経緯

障がい者雇用について

2005 年に、障がい者雇用と職業訓練を目的に設立されていた「はまなす食品」を特例子会社としたことにより、障がい者雇用がスタートしました。

2015 年には、社会貢献として雇用率 5%を目標に設定し、コープさっぽろ全体で取り組むこととしました。人事部が窓口担当となり、行政機関、ハローワーク、関係機関とやり取りをし、事業部や各店舗・宅配センター等と調整をして進めていきました。

コープさっぽろの障がい者雇用は、地域で暮らしたいと考えている人に、地域で働き続けられる環境を提供するという考えのもと、全道展開している『店舗』『宅配』を中心に、各所属に 1 名以上の障がい者雇用を受け入れていくことで進めています。



生活協同組合コープさっぽろ
管理本部 人事部
障がい者サポートマネージャー
伊藤 大介

障がい者雇用の進め方

ミスマッチの雇用とならないためのプロセスが大事だと考えています

- ① 職場の見学をお勧めしています。実際の業務や働く環境を目で見ていただきます。
- ② やりたいと思えた業務を体験していただくことをお勧めしています。目で見ただけの印象と実際に体験して感じたことを大事にしています。
- ③ 体験後の振り返りを大切にしています。振り返りで自分が感じた事と、関わった従業員が感じた事をしっかり振り返ります。

上記プロセスを踏んだ上で、本人が働けると感じたか、所属が受け入れられると感じたかをしっかり精査していきます。

ここが POINT !

生活協同組合 コープさっぽろ

制度について

トライアル

・・・トライアル雇用助成金

JC

・・・職場適応援助者(ジョブコーチ)



平成 26 年 11 月入社(採用時 22 歳)
所属：かしわ店 食品部門
知的障がい（療育 B）

- ・平成 26 年 11 月実習
- ・平成 26 年 11 月採用

仕事の内容：

- ・食品の品出し
- ・日付管理



困った時は相談するようにしています。
丁寧な作業を心がけています。

雇用の際にした配慮や 体制づくりについて

- ◆周りの従業員と協力しながら真面目にコツコツと取り組んでいます。
- ◆出来る業務と時間がかかる業務を確認し、出来る業務を継続しながら一つずつ役割を増やすようにしています。
- ◆指示はマネージャーから出すように統一することで、本人が聞きやすい環境を整えています。

令和 4 年 3 月入社(採用時 18 歳)
所属：ベルデ店 総菜部門
知的障がい（療育 B）

- ・令和 3 年 10 月実習（1ヵ月）
- ・令和 4 年 03 月採用

仕事の内容：

- ・豆腐製造
- ・惣菜づくり

J C



専任職員になり任される作業が増えました。
大変なこともあります頑張っています。

雇用の際にした配慮や 体制づくりについて

- ◆業務は一つずつ覚えられるように配慮しました。まずは豆腐製造に特化して覚えていただき、今では全道で唯一、店舗内で豆腐製造を行う役割を担っています。
- ◆2 名体制でお互いに業務の確認をしながら進められるようにしています。
- ◆現在は、業務の評価を受けて、時給契約のパートナー職員から月給制の専任職員として活躍しています。

障がい者雇用を通じて感じていること

障がい者雇用ということで一括りにするのではなく、一般従業員の教育と同様に出来る業務を担って頂き、苦手な業務は周りと一緒に進めるという当たり前の流れで進めています。

合理的配慮を考える上で、得意なことは更に精度を高め、苦手なことはどのように取り組めば遂行できるのかを一緒に考えることで、ゆっくりかも知れませんが障がいを持っていても業務の幅が広がる可能性があります。

苦手な事を全て配慮するのではなく、自分が出来る努力と一緒に考えながら働いていただくことで、職場での役割が見つかり、お互いの信頼関係に繋がると感じています。